

平成20年度 環境技術実証事業  
ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減技術）  
ワーキンググループ会合（第1回）議事要旨

1. 日時：平成20年7月2日（木）10:00～11:00
2. 場所：鉄鋼会館8階803号室
3. 議題
  - (1) WGの設置について
  - (2) 実証試験要領の見直しについて
  - (3) 実証機関の公募について
  - (4) その他
4. 出席検討員：佐土原聡（座長） 足永靖信、近藤靖史、武田 仁  
欠席検討員：森川泰成、笠松正広
5. 配付資料
  - ・資料1 平成20年度 環境技術実証事業検討会 ヒートアイランド対策技術（建築物外皮による空調負荷低減等技術）ワーキンググループ設置要綱（案）
  - ・資料2 実証試験要領の主な変更点
  - ・資料3 ヒートアイランド対策技術（建築物外皮による空調負荷低減等技術）実証試験要領（案）
  - ・資料4 実証機関選定の考え方について
  - ・資料5 実証機関の募集における申請書類について（案）
  - ・資料6 実績実証機関継続申請書類について（案）
  - ・資料7 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（クールシティ中枢街区パイロット事業）の補助交付対象技術について
  - ・資料8 今後のスケジュールについて
  
  - ・参考資料1 平成20年度 環境技術実証事業 実施要領（環境省）
  - ・参考資料2 低炭素社会モデル額形成促進事業（クールシティ中枢街区パイロット事業）
6. 議事
  - ・会議は公開で行われた。
  - (1) WGの設置について
    - ・事務局より資料1に基づき、ワーキンググループ設置要綱（案）について説明を行い、同内容について了承された。
  - (2) 実証試験要領の見直しについて
    - ・事務局より資料2、資料3に基づき、平成20年度ヒートアイランド対策技術（建築物外皮による空調負荷低減等技術）実証試験要領（案）について第2版（平成19年度実施分）

からの変更点等の説明。

- ・建築物外皮による空調負荷低減等技術に高反射率塗装などを含めることが了承され、「建築物外皮による空調負荷低減等技術『等』」と変更することとされた。それにより今後のWG名も同内容に合わせることとなった。
- ・高反射率塗料に関する具体的実証試験方法、及び日射遮蔽フィルムの実証試験方法に引用している JIS A 5759 の改正版（平成 20 年 6 月 20 日改正）の取扱いについては、実証機関で設置される技術実証委員会に委ねることとなった。

（３）実証機関の公募について

- ・事務局より資料４～６に基づき、今年度における実証機関の公募・選定の考え方（実績のある実証機関の場合における申請書類の簡略化等）について説明がなされ、同内容について了承された。

（４）その他

- ・環境省より資料７、参考資料２を基に、昨年の拡大WGなどで意見を頂いた実証のメリット拡大について、環境省内のヒートアイランド対策の補助金と連携した旨の報告がなされた。
- ・今後のスケジュールについて事務局より資料８に基づき、説明。